

発行元：公益財団法人山口県ひとづくり財団  
県民学習部  
〒754-0893 山口市秋穂二島1062  
TEL 083-987-1710 FAX 083-987-1760  
E-mail [yh-kengaku@hito21.jp](mailto:yh-kengaku@hito21.jp)  
URL <https://yamaguchi-learning.com/>

## 第1回支援員研修会 講師寄稿

日時 令和7年9月13日（土）10:00～15:00  
場所 講義：道の駅「ピュアラインにしき」（岩国市錦町府谷）  
観察：「深谷峡温泉 清流の郷」周辺の深谷川（岩国市錦町宇佐郷）

### 山口県オオサンショウウオ研究所（学校法人山口高川学園）村田 満 氏

本州西端のオオサンショウウオ *Andrias japonicus* (Temminck, 1836) は、河川環境の悪化で絶滅寸前でした。2007年に本種を見つけたのですが、文化庁からの調査許可は2年後の2009年でした。捕獲調査をして分かったことは、ほとんどの個体がセンチュウや微孢子虫が寄生し痩せていたことです。因果関係は分かりませんでしたが、折しも土砂災害防止の機能を失った砂防堰堤の浚渫工事がはじまり、工事エリアに生息する130頭以上を捕獲し一時保護しました。これが4年間（2015～2018年）の中流域再生工事です。続いて5年間（2019～2023年）の上流域復元工事が行われました。工事の終了地点から放流をしたところ、工事前の痩せ個体は減少しました。河川環境の再生・復元工事が、本種の絶滅を防いだことになりました。

しかし、新たに「遺伝子汚染問題」がでてきました。他府県ではチュウゴクオオサンショウウオとの交雑で、日本産純血種が絶滅の危機に陥り、その原因は誰かの違法放流でした。我々は、この対策には地域住民の監視力の強化が必要と考え、2023・2024年に一般市民を対象とした現地説明会や観察会を開きました。そして今年は、希少野生動植物種保護支援員の皆さんに現場で説明する機会が得られたことは、さらなる対策の強化と感じています。

本種は「文化財保護法」と「種の保存法」で守られていますが、積極的な環境改善と管理が無ければ、野生動物は絶滅することを証明する事例になりました。

研修会では、成体3頭の観察ができました。1頭は宇佐川本流の個体で、2頭が深谷峡繁殖地の個体でした。黒色タイプと茶色タイプを見てもらえました（写真1）。個体識別・計測・健康診断（写真2）、そして捕獲地点に放流の一連の調査方法も紹介できました（写真3）。



写真1 オオサンショウウオ



写真2 計測と健康診断



写真3 捕獲地点に放流

残念だったのは、夜間の捕獲調査を体験してもらえなかったことと、産卵直後の巣穴の観察に失敗したことです（写真4）。幸い、前日の写真を生徒が持っており卵囊のようすは理解してもらえたと思います（写真5・6）。

また、現地研修の際に、数名の方から調査協力の申し出をいただきました。オオサンショウウオはヒトよりも長寿の生き物です。保護する側の人間も、世代交代しながらの継続した活動が必要です。これからも一緒に保護活動が続けられることを願っています。



写真4 産卵巣穴の観察



写真5 ヌシと受精卵

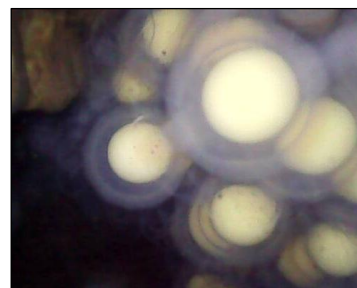


写真6 産卵直後の卵囊

## 自然保護課からのお知らせ

# 山口県内で自然共生サイトが新たに2箇所認定されました！！

## 〈自然共生サイトとは〉

ネイチャーポジティブ※の実現に向けた取組の一つとして、「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律」に基づき、企業や地方公共団体等が作成する、里地里山の保全、外来生物の防除、希少種の保護といった生物多様性の維持・回復・創出に資する「増進活動実施計画」又は「連携増進活動実施計画」を認定します。認定された計画の実施区域のことを「自然共生サイト」と呼びます。

認定区域のうち、生物多様性を維持する計画の実施区域については国立公園等の保護地域を除き、生物多様性保全に資する地域（OECM：Other Effective area-based Conservation Measures）として国際データベースに登録されます。

※「ネイチャーポジティブ：自然再興」とは、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」こと。

## 〈令和7年度第1回 山口県内認定箇所〉

- ・日産化学（株）小野田工場ビオトープ  
（申請者）日産化学株式会社小野田工場
- ・岩国市神東地先の人工海藻藻場  
（申請者）神代漁業協同組合／宇部工業高等専門学校／  
JFEスチール株式会社／岩国市



やまぐち生物多様性

命のつながりをテーマとし、山口県にいきづく生物が自由に円を描くロゴマークです。

※下記URLからもご確認ください。（認定サイト一覧）

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/nintei/index.html>